



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.06

2017.09 発行



最近の活動紹介

皆さまこんにちは、高野町むらづくり支援員（別称・地域おこし協力隊）の田中寛人（たなかひろと）です。

富貴に移住して初めての夏を過ぎましたが、夏がもう終わってしまいました……。家の湿度対策に8月末に縁側に網戸を入れたのですが、もう随分と涼しくなっています。窓を全開にすると寒いので、コタツも片付けてから3ヶ月くらいでまたコタツ布団を掛けました。全然在庫がないので本腰入れて新も集めねば。

今回は通信第6号をお届けします。最近の活動としては8月末に富貴・筒香地区にある果樹の古木の調査をしました。

先月号でも触れました、富貴地区で一本だけ残っている「黄スモモ」と呼ばれている昔から食べられていたスモモと、樹齢二百年？三百年？くらいの昔からある柿の古木、そして筒香で昔からあったスモモが品種として珍しいのではないかと、調査しました。

今回のメインは富貴地区の黄スモモと呼ばれている木で、東京農業大学のスモモ研究者の方にお願いで調査して頂いたところ、大石早生やサンタローザのような「ニホンスモモ」では無く、ヨーロッパから中国ウイグル地区まで広く分布している「ミロバランスモモ」と呼ばれているものであろうということでした。弥生時代にニホンスモモが大陸から日本に入ってきたと推定されていますが、このミロバランスモモは日本にいつ入って来たかは定かではなく、遺物も少ない上に現在でも日本のごく一部しか存在していないそうです。まだ形態的な部分でしか鑑定して頂いていませんが、この黄スモモの木は全国的に見ても非常に

貴重な個体ということでした。富貴の宝の一つと言えるのではないのでしょうか。

このスモモはもはや最後の1本と伺っているのですが、私田中も動きませんが、是非とも地域で守る・残す・増やす（そして活用する）ということを検討して頂けないでしょうか？

富貴地区を世の中に発信する大きな力になるかもしれません。実際の果実自体は小さいので産業利用を考えると現代のスモモと比較すれば劣りますが、果実が多くなるようなので本数を増やせば十分食品加工できますし、ニホンスモモの受粉親としての利用や、寒い土地に適応していることで耐寒性が高く接ぎ木台としての能力も高いようです。

今後私の方では知り合いの果樹農家さんに産業利用について聞き取りしたり、来年に花と実のサンプルを再度大学に送って調査して頂いたり、遺伝子レベルで調査してもらえらる研究者（今回の研究者は形態の分類の専門家）を探予定です。

同時に上述の柿の古木や筒香地区の昔からのスモモの木も「珍しいものだろう」ということが判明し、それぞれ実や花の成る時期にサンプルを採って調査をして頂く予定です。

身近なところにあるものからでもこのような発見がありますので、もし皆さまのご近所に古くから（50年以上昔くらいから）「生えている」「育てている」と聞いている果樹、あるいは「珍しいのではないか」という果樹があればご連絡下さい。実は貴重な品種かもしれないかもしれません。野生のものでもお庭のものでも何でも良いです（※ホームセンターにあるような品種は除く）。

※写真は、東京農業大学のスモモ研究室のOBOGの方にお越し頂いた時の写真です。現在大学には所属していませんが、在野で現在も色々調査されています。

最近の活動 2

薄板の価値を知った上で使ってもらえることになりました。

普段から出掛けた先で出会った人には高野町の魅力をPRしているのですが、今回、富貴地区で職人が作る伝統工芸品「薄板」を和歌山市の飲食店で採用して頂きました。

薄板とは、松の木を薄く削って乾燥させたものです。松は抗菌作用を持ち、板が水分を吸収するので食品の下敷きなどに使われており、あまり注目はされていませんが実は日本料理と共に存在してきた「縁の下の力持ち」なのです。

ただ、現在は材料となる松の木はマツクイムシ被害のため良い材の入手が難しい上に、時代の流れで多くがナイロン等に取って代わられて、薄板職人さんはほとんど居られず貴重な存在となってしまうました。

その職人さんが作った「薄板」を、色んなご縁を通して和歌山市の人気飲食店の食堂ことぶき（旧H.S.B）様のところで使ってもらえることになりました。写真は実際の料理で使われている様子です。



魚料理の下敷きにお使い頂いてました。薄板を敷くことで余分な水分を取り、松のほのかな香りがより料理を引き立ててくれます。どうしても料理が提供された時に素材や器が目が奪われると思いますが、実はさり気ないところに職人の作品が隠れています。和歌山の手作りしたものが、使ってくれる人に価値を理解してもらった上で地元の和歌山で使われて、とても嬉しいです。

このような「薄板」も含めて、昔は生活用品の一部で欠かせなかった木製品が、今は日本中で衰退し、失われつつあります。後継者の問題や生活の問題など多々あると思いますが、現役の職人さんがまだ地域におられるうちに、少なくとも多くの人に知ってもらえるようにPRし、できれば手にとってもらって、できれば現地まで来てもらって職人さんが「どんな思いで仕事をしているか」を伝えられたらいいなあと、思っています。

個人的に感じる、薄板職人さんの何がすごいかというと、松はヤニの多い植物なのでその部分を避けて材を切り出し、松脂が出ないように薄くカンナがけするのも凄いです。木目を考えてカンナがけするのも凄いです、その日の湿度に合わせて乾燥具合を調節する技術も凄いです。それが、それよりもっと驚いたことは、何十年前から使っている古い機械が今もほとんど壊れていないこと（「言うことを聞かなくなる」）としており、もはや現在交換するような部品は販売していないにも関わらず知恵と工夫で乗り切り、一つ一つ同じ品質の作品を作り出せる、ということだと思います。

自分自身が生物系や食物系に関わる取り組みが多く、物理や機械類に疎いからかもしれませんが、使っている多い今の社会の中で、本当にすごいと思います。

今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみなさんと動いている案件につきましては、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いなか暮らしやいなか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。知り合いの方には来て頂きまして、またまだお客様は来ておりません。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に、情報発信、来年イベント化や体験プログラム化、商品化などを検討・提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミヨウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
予定していたイベントが無事終了したため、筒香寄合会様と協働で加工品作りや、秋冬での筒香を発信する仕掛けづくりを検討します。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、富貴小中学校を残していただくための企画を今度お話しさせていただきます。

⑦その他いろいろ
高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行っています。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
同時並行で進めたいと思うのですが、「せっかくな富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。

直近ではこのような活動を行っておりますが、他にも「こんな地域になればいいのに」「こんな活動をすれば良くなるのではないかな」といった地域づくりに関わる皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。前号と被るものもあります

●薬草・生薬の栽培に興味のある方へ

先々月号、先月号と薬草・生薬の栽培に興味のある方を紙面で募集させて頂きました。その結果、何名かの方からご連絡頂いたので、専門家の方をお招きして説明して頂いたり、その場で話し合う場を一度設定しようと思っております(日時は紙面掲載に間に合えばこちらでもご連絡致しますが、月に一度の通信なので間に合わない場合もあります。ご興味がある場合は別途お問合せ下さい)。
※作ってすぐ買い取ってくれるとか、販路を先方が用意してくれるとか、そういうことは期待しないで下さい。今すぐの変化を求めているわけではなく、地域に合った薬草の品種探いや、需要の見極めなども「勉強」していくことになると思います。

ちなみに、お隣の奈良県では行政が支援して「薬草の町」として様々な商品開発が行われており、例えば富貴地区で生産しているトウキを奈良県では「奈良の和ハーブ 大和当帰」というブランド化をして様々な業者が加工品を作り、具体的には大和当帰の生薬、お茶、ドレッシング、葛湯、ハーブソルト、大和当帰葉味噌、巻き寿司、クッキー、焼菓子、大和当帰葉入りの熟成鶏カツバーガー、ソーセージ、コッペパンサンド、ハンドクリーム、入浴剤などが既に販売されており、さらには新鮮な生薬を使って地元の飲食店が当帰の料理を提供しています。トウキだけでこんなにも広がりがあり、お金を稼ぐ手段になると共に、現地できかできないトウキを使った体験プログラムを組むことで田舎へ人を呼ぶ手段にもなっています。一足飛びにこのような商品数まで持つていくのは難しいですが、高野町には「陀羅尼助」のような伝統的な薬草(キハダ、センブリ等)を活用した商品があり、昔から植物を活用した暮らしがあると思うので、奈良に負けず、標高が高いことによる寒さや湿度を活かして特徴ある薬草を栽培し、高野町(の周辺集落)に外から人の来る仕組みや持続的な仕事を生み出せたらと思います。

●空き家情報を教えてください。
利用しても良い空き家がありましたら教えてください。修理が必要ということであれば、「古民家の修理」自体もイベント化して、手仕事体験希望者をココまで引っ張ってきて参加者みんなでコツコツ修理するという企画もできるのではないかと考えているので、すぐに住めなくとも、キレイじゃなくても、大丈夫です。

イベント情報



探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い 続き

●ずっと眠っていて要らない果実酒やジュース類あったら下さい

変わったものを食べることで自分が好きなのですが、ご自宅や旧宅にずっと放置していてもう食べない(飲まない)果実酒、梅ジュース、古漬け、缶詰、古ーいビールやワインなどがありましたら下さい。発酵・熟成させすぎたらどうなるか興味があるので、自己責任の上で賞味します(同じ興味のある友人もおります)。ホコリをかぶっていても、20年くらい経っていても全然大丈夫です。

●ニシキマメ、白ニシキマメ売って下さい(富貴・筒香地区で)
色々調査して、富貴・筒香地区で栽培されているニシキマメや白ニシキマメがご当地豆として珍しいと考えています。地域をPRしていくために色々試作品を作るべくある程度の量が欲しいので、売っていただける方おられたらご連絡下さい。(欲しいのは乾燥状態です)

●マタタビの実
マタタビの実を採っても良い場所があれば教えてください。活用したいです。



●ポポー(あるいはポーポー)の実
ポポー(あるいはポーポー)の実を採っても良い場所があれば教えてください。活用したいです。(腐る前のバナナのような臭い)

宜しくお願い致します。

編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございます。先日、バラ農家さんとながったので人生で初めて自分のためにだけにバラの花束を購入し、我が家の五右衛門風呂にバラを浮かべて入ってみました(住んでいるのは男一人です)。
1まいい、2まいい、と花びらを分解し、赤・黄・オレンジ・ピンク色と色とりどりな花びらが狭い五右衛門風呂に浮かぶ、ちよつと変わった景色とバラの良い香りが楽しめました。
味をしめて、今度はいろいろな薬草やハーブを入れてみようと思います。

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 06 2017年(平成29年)9月
制作・編集者 / 高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと 千648-0402
和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.07

2017.10発行



最近の活動紹介

皆さまこんにちは、高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろと)です。

富貴に移住して初めての秋。秋といえば「実りの秋」!。変わった食べ物好きな私には色々とした好奇心の満たされる品の多い秋ですが、近所の富貴・筒香の山を適当に歩いてマツタケ泥棒と間違われると悲しいのでじっとして・・・はおらず、山に入れない代わりに道路沿いや田畑に生える木の実や野草を採集して秋を楽しんでおります!。今回は通信第7号をお届けします。

最近の活動としては「森のようちえん」という仕組みの紹介をいくつかの場所や人にさせて頂いています。

これまでも記事の中で少し触れましたが、私田中は高野町に移住して来る前に和歌山県内の田舎に人を呼ぶための地域おこしの活動を色々やっておりまして、その活動内容について、これを書いていく時点ではまだなのですが、10月24日に和歌山大学で4時間もらって大学生や先生方に講義してきました。

色々行った活動の経験に基づいて、ここ高野町だから、あるいはそれぞれの地区だからこそ出来る仕掛けは無いのかなあと思いつながら活動していましたが、上記の「森のようちえん」という仕組みが使えるのではないかと、最近新たに自分から動き始めています。

・森のようちえんとは・・・
0歳から概ね6歳くらいまでの乳児・幼少期の子ども達を対象とし、自然体験活動を基軸にした子育て・保育、乳児・幼少期教育の

仕組み名称(一般的に各市町村でやっている幼児教育とは異なります)。

【森】と付いていますが、森だけでなく、海や川や野山、里山、畑公園など、広義にとらえた自然体験をするフィールド全般を指しています。

この仕組みは北欧から始まって、日本でも導入され、各地でお母さん方を中心にして少人数サークルレベルから、発展して組織化された本格的な団体まで、様々な形で行われています。

例えばドイツでは園舎を持たずに毎日森に子ども達が出掛けていくスタイルが多いです。そこでは自然豊かな環境の中で、意図的に大人の考えや考え方を強要せず、子どもが持っている感覚や感性を信じ、そして引き出すような関わり方をしています。

この「森のようちえん」という仕組みは、非常に田舎と相性が良く、地域にある田舎や雑木林、小川といった身近な自然を存分に活かしながら、それらが子ども達の身体能力を鍛え、与えられた遊び道具ではなく自ら遊びを考えるための思考能力が身につく、教えあひ助け合ってゼロから何かを達成することによるコミュニケーション能力が身につく、自然の中の不確定要素によるケガで痛みを知り「危ない」と「大丈夫」の境界線などを早期に学びます。自然の中の活動は、晴れの日はかりではないため、雨でも強風でも活動し、色々な状況を楽しむための能力なども身につくと言われています。

と、このようにとっても良い仕組みなのですが、和歌山県内にはまだまだその実施団体が無かった(平成27年当時)ため、関心のある保護者の方々と一緒になって平成27年から平成28年にかけて和歌山県内の様々な場所で日帰りの森のようちえんプログラムを実施し、仕組みを紹介し、のべ四百

人以上の親子にご参加頂きました。その結果、現在県内で紀北から紀南まで7つの団体が森のようちえんが動き始めています。

自然豊かで四季折々の景色がはつきりと体験できる高野町で、環境を生かしたこの教育の仕掛けに興味のある保護者の方々に取り入れてもらえないだろうかと思いついておりまして。(ちなみに私田中は独身で子どももおらず、どうしてそんなことをするのか時々質問されますが、この仕組みが上記のようにな多くのメリットがあつて子ども達のためになり、ひいては和歌山の未来のためになると確信したので行動しています)

この仕組みはたぶん文字ばかりで伝えても何のことも実感が湧かないかと思うので、11月30日に森のようちえんについて紹介する会を設けます。良かったら覗きにお越し下さい。(詳細は裏面)

※今回の「森のようちえん」のご紹介は、役場の事業と関係なく、あくまで個人の経験に基づくご紹介です。
※写真は、実際に私が行った森のようちえんイベントでの一コマです。大掛かりな装置が要るわけではなく、身近な自然が学びの現場になります。



最近の活動2

高野町内で、昔から植物(主に薬草)を活用した暮らしの情報が無いか調べています。

薬草図鑑とにらめっこしながら、時には直接植物の生えている場所を教えて頂いたり、高野山大学の図書館にもって文庫調査(ただし読めるのは現代語訳されたものだけ・・・)をしています。宗教関連の書籍や文献はたくさんあるのですが、かつて(平安時代以降)の日常の暮らしや山の上で病気になる際の治療方法などの情報はあまり見つけられず、模索中。

写真はマタタビのツルと実です。まだまだ葉の見た目から見つけることに慣れていないのと、採集に向かう時期が遅かったようで、実をほとんど見つけられませんでした。弘法大師との伝説が伝えられる精力剤で、疲労回復や滋養強壮に効果があります。
私自身でマタタビ酒を飲んでも効果が良く分かっていなかったのですが、猫に枝葉を使ったらめっちゃ喜んでいました! 葉っぱでも猫酔うんですね(家の中が砕けたカスだらけになるので皆様はお止め下さい)。



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみなさんと動いている案件につきましては、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

① 宿泊施設の営業

いなか暮らしやいなか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。知り合いの方には来て頂きまして、またまだお客様は来ておりません。

② 地域資源の調査・実験

ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に、情報発信、来年イベント化や体験プログラム化、商品化などを検討・提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③ 筒香地区での仕掛け

予定していたイベントが無事終了したため、筒香寄合会様と協働で加工品作りや、秋冬での筒香を発信する仕掛けづくりを検討します。

④ 神谷地区での仕掛け

神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤ 花坂地区での仕掛け

花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。

⑥ 富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦ その他いろいろ

町内広域で新たに「森のようちえん」という仕組みのご紹介を始めました。
高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行っています。

⑧ 富貴で生計を立てるための仕事づくり

同時並行で進めたいと思うのですが、「せっかくな富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。
直近ではこのような活動を行っておりませんが、他にも「こんな地域になればいいのに」「や」「こんな活動をすれば良くなるのではないか」といった地域づくりに関わる皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

イベント情報

※紙面の都合上詳細についてはお問合せ、或いはメールアドレスを教えてくださいましたら折り返しイベント内容を返信します

イベント1: 森の寒ヨガ(森林ヨガ)体験
内容 (現場までの)森の散歩+森林ヨガ(60分)
日時 11月21日(火) 10時~12時
現場 高野山の森
参加費 大人千円 (体験料、保険料含む)
※プロの講師呼びます。

イベント2: 高野山で「森のようちえん」(野外保育)はじめませんか?
内容 「森のようちえん」紹介
日時 11月30日(木) 10時~11時半ごろ
集合場所 高野町子育て支援センター
参加費 無料。未就学児と一緒に参加OK。保育士さんが預かってくれます。子育て世代以外の方も大歓迎です



探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。

●薬草・生薬の栽培や利用に興味のある方へ

専門家の方をお招きして説明して頂いたり、その場で話し合う場を作りました。
※作ってすぐ買い取ってくれるとか、販路を先方が用意してくれるとか、そういうことは期待しないで下さい。今すぐの変化を求めているわけではなく、地域に合った薬草の品種探しや、需要の見極めなども「勉強」していくことになると思います。

講演タイトル
「薬草を学ぶ ~薬草を活用した仕掛けづくり~」

内容
・現在の薬草の市場の現状を学ぶ
・薬草の効果や活用例(商品化例)の様々な具体例を学ぶ
日時 12月8日(金) 13時~15時
(終了後、時間のある方や質問のある方はそのまま相談会&交流会を予定)
参加費 無料
場所 こうや暮らしの情報センター(高野町高野山45-29)
※要事前申し込み。申し込みは下部のメールアドレスかお電話で。

標高が高いことによる寒さや湿度を活かして特徴ある薬草を栽培し、高野町(の周辺集落)に外から人の来る仕組みや持続的な仕事を生み出せたらと思います。

●空き家情報を教えて下さい。
利用しても良い空き家がありましたら教えて下さい。修理が必要ということであれば、「古民家の修理」自体もイベント化して、手仕事体験希望者をココまで引っ張ってきて参加者みんなでコツコツ修理するという企画もできるのではないかと考えているので、すぐに住めなくとも、キレイじゃなくても、大丈夫です。

イベント3: しめ縄作り体験
日時 12/2(土) 時間未確認
場所 旧筒香小学校
主催 筒香寄合会
※詳細を伺うのを忘れていたので興味のある方は連絡下さい

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い 続き

●ニシキマメ、白ニシキマメ売って下さい(富貴・筒香地区で)色々調査して、富貴・筒香地区で栽培されているニシキマメや白ニシキマメがご当地豆として珍しいと考えています。地域をPRしていくために色々試作品を作るべくある程度の量が欲しいので、売っていただける方おられたらご連絡下さい。(欲しいのは乾燥状態です)

●ヤドリギの実(通称ミドリ?)
ヤドリギの実を食べてみたいので、採っても良いところがあれば教えて下さい!高枝切りバサミはあるので3メートルくらいの高さなら取れます(たぶん)。ネチャネチャしているのを何かに使えたらと考えています。



宜しくお願ひ致します。

編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございます。出会った方から、「読んでるよ」とご声援を頂きまして、ありがとうございます。ただ、この通信は富貴・筒香地区では全戸配布して頂いているのですが、その他地区では回覧での提供のため、まだまだ「知らなかった!」「そんなの入ってなかった?」という声も聞かれます。中の人は結構がんばって考えて書いていて、できれば多くの方の目にとまればいいなあと、中頃の発行を考えています。発行時期が変わるかもしれませんが、引き続きお付き合いを宜しくお願いいたします。

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 07 2017年(平成29年)10月
制作・編集者 / 高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと 千648-0402
和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.08

2017.11発行

イベント情報

※紙面の都合上詳細についてはお問合せ、或いはメールアドレスを教えてくださいましたら折り返しイベント内容を返信します)

イベント1: 森の寒ヨガ(森林ヨガ)体験
内容 (現場までの)森の散歩+森林ヨガ(60分)
日時 11月21日(火) 10時~12時
現場 高野山の森
参加費 大人千円 (体験料、保険料含む)
※ヨガ+シンキングボウル(和歌山初)体験
※プロの講師呼びます。

イベント2: 高野山で「森のようちえん」(野外保育)はじめませんか?

内容 「森のようちえん」という仕組みの紹介超簡潔に言うと、0歳からおおむね6歳くらいまでの乳児・幼少期の子ども達を対象とし、自然体験活動を基軸にした子育て・保育・幼少期教育の仕組みです。森だけでなく、海や川・野山・田んぼ・公園など、幅広い自然の中で活動します。
日時 11月30日(木) 10時~11時半ごろ
集合場所 高野町子育て支援センター
参加費 無料。未就学児と一緒に参加OK。保育士さんが預かってくれます。子育て世代以外の方も大歓迎です
※先月号vol.07にて少し触れているので良かったらご覧下さい

イベント3: しめ縄作り体験+焼き芋

日時 12/2(土) 午後1時半~
場所 旧筒香小学校
参加費 一人300円、一家族500円
主催 筒香寄合会 0736-53-2008 (要申込)



探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。前号と被るものもあります

●薬草・生薬の栽培や利用に興味のある方へ

専門家の方をお招きして説明して頂いたり、その場で話し合う場を作りました。
※作ってすぐ買い取ってくれるとか、販路を先方が用意してくれるとか、そういうことは期待しないで下さい。今すぐの変化を求めているわけではなく、地域に合った薬草の品種探しや、需要の見極めなども「勉強」していくことになると思います。

講演タイトル
「薬草を学ぶ ~薬草を活用した仕掛けづくり~」

内容
・現在の薬草の市場の現状を学ぶ
・薬草の効果や活用例(商品化例)の様々な具体例を学ぶ
日時 12月8日(金) 13時~15時
(終了後、時間のある方や質問のある方はそのまま相談会&交流会を予定)
参加費 無料
場所 こうや暮らしの情報センター(高野町高野山45-29)
※要事前申し込み。申し込みは下部のメールアドレスかお電話で。

標高が高いことによる寒さや湿度を活かして特徴ある薬草を栽培し、高野町(の周辺集落)に外から人の来る仕組みや持続的な仕事を生み出せたらと思います。

●空き家情報を教えてください。
利用しても良い空き家がありましたら教えてください。
修理が必要ということであれば、「古民家の修理」自体もイベント化して、手仕事体験希望者をココまで引っ張ってきて参加者みんなでコツコツ修理するという企画もできるのではないかと考えているので、すぐに住めなくとも、キレイじゃなくても、大丈夫です。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い 続き

●ニシキマメ、白ニシキマメ売って下さい(富貴・筒香地区で)色々調査して、富貴・筒香地区で栽培されているニシキマメや白ニシキマメがご当地豆として珍しいと考えています。地域をPRしていくために色々試作品を作るべくある程度の量が欲しいので、売っていただける方おられたらご連絡下さい。(欲しいのは乾燥状態です)

●ヤドリギの実(通称ミドリ?)
ヤドリギの実を食べてみたいので、採っても良いところがあれば教えてください!高枝切りバサミはあるので3メートルくらいの高さなら取れます(たぶん)。ネチャネチャしているのを何かに使えたらと考えています。



宜しくお願ひ致します。

●石垣を積める場所を教えてください

崩壊した石垣がある以下のような場所を募集しています(富貴・筒香地域で先行募集)
・崩れた石垣で、足元にある石を使えば元に戻せるだろう場所
・歩いて10分以内に3台以上駐車できるスペースがある(イベント参加者用に使います)
・綺麗に元に戻せなくとも良い場所(石を積むのは素人なのでご了承下さい)
・日帰り体験として複数回できればと考えており、回で崩れた場所を全部修復できるとは限りません、ご了承下さい

来年、石垣を積む体験をイベント化し、富貴・筒香地域へ人を呼ぶ手段として使えないかを検討しています(和歌山初のイベントとして過去に実施経験アリ)。既に高野町外と町内で一人ずつ石垣積みをお願いする師匠を確保しております。後は現場として石垣を積む場所さえあればイベント化できるので、是非とも情報をお待ちしております。



後編 編集

今号もご高覧頂きありがとうございました。もう家の中がずいぶん寒くなりましたね。台所に立つと足元から冷えてくるし、お風呂上りが寒すぎて、夏が恋しいです。早く冬の楽しみを色々見つけねば...。この間記事を書いたばかりですが、今号からは月の中頃での発行になります。なのでまだネタが溜まっていないこともあり、引き続き近々開催予定のイベントのご案内と、来年の予定の体験プログラム用の情報募集を書かせていただきます。

次号からはまた両面での記事を書く予定です。

発行元

「たなかめ通信」 Vol.08 2017年(平成29年)11月
制作・編集者/ 高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと
〒648-0402 和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た地域レポート

Vol.09

2017.12 発行



最近の活動紹介

皆さまこんにちは、高野町むらづくり支援員（別称・地域おこし協力隊）の田中寛人（たなかひろと）です。

去年富貴に移住して、季節が一周しました。去年の冬を経験しているので多少は寒さの想像ができるので、寒くて引きこもりそうな半面、寒さを活かして何かできないかなと楽しんでいます。冬の間、色々聞き取り調査でお話を伺えたらとも考えていますので、押しかけた際にはご迷惑をおかけしますが宜しくお願いいたします。今回は通信第9号をお届けします。

最近の活動としては、一週間かけて四国の田舎を走り回って地域資源の活用方法の調査・勉強に行っていました。

私田中は5年前に、高知県の四万十町の古城という過疎地域（人口1600人程度）に住みながら地域おこしの仕事をしていました。愛媛県と高知県の県境で、海辺から車で一時間かけてたどり着くような山の中です。そこを拠点にして、東西に弓の形で広がる高知県内の東の端から西の端まで全部を仕事エリアとして動き回って、移住の取り組みを行っていました。

その高知県での過疎地にやる気のある若者を送り込む実践的な仕事都非常に良い仕組みで、田舎と都市部をつなぎ、高齢者と若者をつなぎ、薄っぺらい田舎暮らし希望者は選別され、外からきたヨソモノが地元の人ファンになるという、中身も実績も非常に良い仕組みで、その内容をふるさとの和歌山でもやりたいと思って私はUターンして戻ってきています。

そのため、それぞれの田舎にある地元の素材、及び地元素材を使った商品開発について学ぶべく、四国に向かいました。

四国4県はどこも基本的に過疎や高齢化の進んだ県で、たくさん小さな田舎・限界集落があり、それぞれ地域が生き残るために動いているところは、その動きが役場や観光協会、道の駅に置いてあるパンフレットを見ればある程度分かり、組織がどのような考えで地域おこしをしようとして、どんな仕掛けをしているのかが把握できます。また住民主体で動いている取り組みのパンフレット・フリーペーパー・手作り冊子などもあり活動内容や手法が参考になったりします。

そして、パンフレット類以外にも、立地の道の駅や直売所、チェーン展開していない中小規模のローカルスーパーを訪問すると、季節のご当地産品が置いてあり、その土地にある素材を使って、どんな風に素材を加工して、他の何と組み合わせているのか、あるいはパッケージをどう工夫して差別化を計っているのか、などが分かり、大体どの田舎でもそのような素材を活用したものもあれば、そこにしかない素材や商品もあり、「その土地にしかない素材や商品」はその地域の個性を現すものであることが多いので、私は、そういった個性の感じられるものを探して和歌山での活用を検討。べく、フェリーで徳島県入りしてから毎日朝の7時くらいから夜6時くらいまで、お店が開いている限り上記の施設をひたすら回って、探して、勉強になりそうな商品はサンプルとして買う（自腹です）、翌日はその続きからまた同様に行く、という行動をずっと繰り返したのです。たぶん全部で80ヶ所以上は寄っていると思います。総走行距離は2074



キロを走り、（役場から今回の経費は全く頂いていないので節約のために）うち3日間は無度近くの山中で車中泊したりもして、足で情報を稼ぐ調査の中で見つけて勉強に購入してきた「地域性」を感じられる産品のいくつかを写真で紹介いたします（説明は下段にて）。

最近の活動 続き

掲載写真の説明です。

上段左は四国4県で見つけたご当地茶の一覧です。各種緑茶、乳酸菌による発酵茶、紅茶、粉末茶（なんとビール用！）。

上段右は、トウキビの乾燥させたもの。今のスイートコーン種とは違い、加熱しないと甘くならない昔の品種です。これを粉末にしたもの、引き割りにしたものも販売していました。

中段左は、ご当地の野草茶・薬草茶の一覧です。身近な自然の中にある素材が商品になっています。

中段右は、高知県の一部で栽培している在来種のカボチャです。写真では分かりづらいですが、非常に平らで薄いです。鏡餅みたい。下段の写真は、在来種のお豆さんです。愛媛の山奥でも富貴・筒香のものと同じ模様で同名の「にしき豆」が販売されていてビックリしました。

このような個性あるもの、地域で伝えられているものを高野町でも掘り起こして発信できればと考えておりますので情報いただければ幸いです。



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみなさんと動いている案件につきましても、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるため、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いななか暮らしやいななか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。知り合いの方には来て頂きまして、またまだお客様は来ておりません。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に、情報発信、来年イベント化や体験プログラム化、商品化などを検討・提案していければと思います。果樹、薬草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討しています。来年何回かやれたらと思っています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、花坂の手作りコンニャクや金山

寺味噌のファンが生まれています。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
町内広域で新たに「森のようちえん」という仕組みのご紹介を始めました。
高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行っています。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
同時並行で進めたいと思うのですが、「せつかく富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。

直近ではこのような活動を行っておりますが、他にも「こんな地域になればいいのに」「こんな活動ができればいいな」などはないか」といった地域づくりに関する皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

なお、記載のほとんどの活動において役場からの具体的な指示が下りてきて動いているのではなく、私田中が自主的に検討して判断して行動しております。

イベント情報



●ベビーヨガ体験のお知らせ

(まだ企画コーディネート中ですが、開催予定日まで時間が無いので先に分かっている情報を紹介)

日時:12/19 (火) 10~12時ごろ

場所:高野山上の室内(申込者にご連絡します。暖房あり。駐車場あり)

内容:プロのヨガ講師(女性)に来町頂いてベビーヨガを実施。

対象年齢:2歳くらいまで。年齢外の兄弟参加も歓迎。

参加費:一家族千円くらいを予定(変更の可能性もあります)

お申込・お問合せ:紙面下部にある田中のメールアドレスに「全員の氏名・お子様の年齢・電話番号・メールアドレス」をご連絡下さい。

※まだ打ち合わせ中(記事執筆の12/4時点)のため、内容は変更する場合がありますので必ず事前にお問合せ・お申込のご連絡下さい。
※皆さまからニーズがあれば2回目も開催する予定です。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い 続き

●ニシキマメ、白ニシキマメ売って下さい(富貴・筒香地区で)
色々調査して、富貴・筒香地区で栽培されているニシキマメや白ニシキマメがご当地豆として珍しいと考えています。地域をPRしていくために色々試作品を作るべくある程度の量が欲しいので、売っていただける方おられたらご連絡下さい。(欲しいのは乾燥状態です)



●ハゼの実が欲しいです。
冬の間、木からブドウの房のように垂れ下がっているハゼの実が欲しいです。採って良い木がありましたら教えてください。
※ちなみに私はカブレない体質のようなので、さわれます。ウルシで実験済み。

宜しくお願い致します。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。前号と被るものもあります

●石垣を積める場所を教えてください

崩壊した石垣がある以下のような場所を募集しています(富貴・筒香地域で先行募集)
・崩れた石垣で、足元にある石を使えば元に戻せるだろう場所



・歩いて10分以内に3台以上駐車できるスペースがある(イベント参加者用に使用します)
・綺麗に元に戻せなくとも良い場所(石を積むのは素人なのでご了承下さい)

・日帰り体験として複数回できればと考えており、回で崩れた場所を全部修復できるとは限りません、ご了承下さい

来年、石垣を積む体験をイベント化し、富貴・筒香地域へ人を呼ぶ手段として使えないかを検討しています(和歌山初のイベントとして過去に実施経験アリ)。

既に高野町外と町内で一人ずつ石垣積みを教えて頂ける師匠を確保しております。後は現場として石垣を積む場所さえあればイベント化できるので、是非とも情報をお待ちしております。

●泥遊びしても良い田んぼを教えてください

未就学児や小学生の子どもたちを集めて、ドロドロになってもらって泥んこ体験をさせられないか検討しています。

今の子どもたちは周辺環境が衛生的すぎて成長しても免疫力が低く、逆に病気(特にアレルギー、アトピー等)になりやすい、そして風邪も引きやすい子が多いという話も聞きます。そこで、イベント当日だけは大人も含めて堂々と泥まみれになってもらって五感で遊んでもらいたいと思っています。

なので、来年の暖かい時期に、子どもたちや大人が入って走り回っても良い田んぼがあれば貸していただけないでしょうか?(富貴・筒香地域で募集)

●空き家情報を教えてください

利用しても良い空き家がありましたら教えてください。

修理が必要ということであれば、「古民家の修理」自体もイベント化して、手仕事体験希望者をココまで引っ張ってきて参加者みんなでコツコツ修理するという企画もできるのではないかと考えているので、すぐに住めなくとも、キレイじゃなくても、大丈夫です。

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 09 2017年(平成29年)12月
制作・編集者/
高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと
〒648-0402 和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com

編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございます。先月号は片面でしたが、また一面での記事に戻りました。去年の12月から現在の住居に本格的に住み始めて、もう一年が経ちました。富貴での冬の暮らしがどれだけ厳しいのかわからない中で住み始めて、当時掃除してもまだまだらけの室内のカビ臭さや隙間の乾かなさ等を勉強しながら、あつという間の一年でした。運転下手な私は、冬になると、橋本方面から車で戻ってきた時に、集落の入り口のイルミネーションの明かりで無事帰れたことを感じ、「ホッ」としてしまいます。今年も楽しみ。



たなかめ通信

From Fuki

ヨソモノから見た
地域レポート

Vol.10

2018.01発行



最近の活動紹介

皆さま、遅ればせながら明けましておめでとうございます。高野町むらづくり支援員(別称・地域おこし協力隊)の田中寛人(たなかひろと)です。本年も継続して活動させて頂く予定です。宜しくお願いたします。

家の中も寒いですが、友人が遊びに来てくれたので、ホットプレートでお好み焼きを焼くつづつ電気ストーブ(赤くなるやつ)で暖をとってもらおうと思ったらブレイカーが落ちました。古いおうちなのでブレイカーの容量が低いようです。それまでは気にしていなかったのですがその時初めて気づきました。容量を上げないとホットプレートでお好み焼きが楽しめないなんて、とちょっと悲しくなりました。まだまだいじるところがありそうです。今回は通信第10号をお届けします。

- 最近の活動としては、一ヶ月強の短い間に、全部で五つのイベントをこなしました。
- 11/30 高野山にて「森のようちえん勉強会」主催
 - 12/2 筒香地区にて「しめ縄作り」お手伝い
 - 12/8 高野山にて「野草・薬草の活用勉強会」主催
 - 12/17 筒香地区にて大学生呼んで「ススキ刈り」お手伝い
 - 12/19 高野山にて「ベビーヨガ体験」主催

主催イベントの方については、無差別に行ったわけではなく、高野山と絡まない町内の集落においては、外から人を呼ぶ・来てもらう・興味を持ってもらうのが中々難しいと感じたので、地域の地形や気候を利用した高付加価値の新たな商品作物栽培およびそれ

らを使った加工品の開発につなげたいと考えて、野草・薬草の勉強会を開催しました。各地区からご参加頂き、興味を持ってもらえる方が確認できたので、今年は今少し踏み込んだ勉強会をできればと考えています。

・森のようちえん勉強会とベビーヨガについては、高野山上で未就学児が五感を活かしたより様々な経験(できれば自然と絡めたい)をできるような場を作りたいと思いつた保護者の方のニーズを確認するための意味も込めて行いました。どちらも保護者の方々にご参加頂き、実践的なベビーヨガ体験の方は特に好評だったので、今年も継続してできるように動きまわります。

※森のようちえんとは、0歳から概ね6歳ぐらいまでの子ども達を対象とし、自然体験活動を基軸にした子育て・保育、乳児・幼少期教育の仕組み名称。【森】と付いていますが、森だけでなく、海や川や野山、里山、畑、公園など、自然のある場所全てがフィールドです。

薬草勉強会の後、自らも勉強して、近隣で薬草をチェックし、南天、スイカズラ、マタタビ、シシウド、ビワ、カリン、クロモジ、ノイバラ、クマザサ、赤松を使っ



て写真のような薬用酒を仕込んでみました。滋養強壮や健康に効果があり・・・そんな気がします。また、薬草採りの最中にキイチゴ(フユイチゴ)を見つけたので、イチゴ大福ならぬ「キイチゴ大福」も作ってみました(写真)。キイチゴの粒々食感が面白く、果汁の酸味と白餡がマッチして美味しかったです。



ススキ刈りイベントの際には、刈ったススキの穂と茎を何かに利用できないかなとと考えて、ススキ茶(写真)を作ってみました。焙じてから煮出したので香ばしくさっぱりした味わいでした。

最近の活動 続き



今後の活動予定

このコーナーでは、私の今後の活動予定についてご紹介させていただきます。

※ただ、地域のみなさんと動いている案件につきましても、確定事項でなかったり、まだ社外秘だったり、行政からの許可が下りていないものもあるので、私の全ての活動を掲載してはおりません。ご了承ください。

①宿泊施設の営業
いなか暮らしやいなか体験に興味のある方の一時的な受け皿としての活用を考えております。知り合いの方には来て頂きまして、またまだお客様は来ておりません。

②地域資源の調査・実験
ヨソモノから見た富貴・筒香地区の「ココにしか無いモノ」を春夏秋冬の一年を通じて調査する予定です。その結果を元に、情報発信、イベント化や体験プログラム化、商売化などを検討。提案していければと思います。果樹、葉草、ハーブ、ミョウガなどを調査しています。

③筒香地区での仕掛け
筒香寄合会様と協働で加工品作りや、筒香を発信する仕掛けづくりを検討・実施しています。大学生による農作業の支援もサポートしています。

④神谷地区での仕掛け
神谷地区の方と協働し、南海電鉄 紀伊神谷駅と神谷集落を結ぶ仕掛け、ヨソモノと交流できる仕掛けを準備します。

⑤花坂地区での仕掛け
花坂地区在住のむらづくり支援員の方と協働して、地域の産品を大都市圏へ持って行き、販売・マーケティング調査・地域のPRなどを行います。大阪で、

花坂の手作りコンニャクや金山寺味噌のファンが生まれていきます。

⑥富貴地区での仕掛け
特産のヒノキ紐や薄板を出掛け先でPRしています。また、葉草・古木の調査なども継続しておこなっています。

⑦その他いろいろ
高野山で未就学児を対象にした体験プログラムの検討・実践をはじめました。高野町内の景観や暮らし、地域産品をPRする場としてのホームページの作成、インターネットショップの開店準備などもコツコツ行っています。

⑧富貴で生計を立てるための仕事づくり
同時並行で進めたいと思うのですが、「せっかく富貴に住むのだから」とあれもこれもやりたいことがたくさん出てきて中々時間が取れず、あまり進んでおりません。

直近ではこのような活動を行っておりませんが、他にも「こんな地域になればいいのに」「こんな活動ができればいいな」といった地域づくりはないか」といった地域づくりに関する皆様のご意見やご要望がありましたらご連絡下さい。お待ちしております。

イベント情報



直近は特にありません。年中現場で出来ることを考えて活動しているのですが、冬場はなかなかイベントしづらいです。本当は富貴・筒香地域の冬に、ツララポキポキしたり、ソリ遊びしたりする体験などを、寒い地域だからこそできる貴重な体験なので是非イベント化したいのですが、たぶん凍結に慣れていない参加者が来るのが大変なのと、当日の積雪量が読めないので諦めました。残念。

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い。

前号と被るものもあります

●泥遊びしても良い田んぼを教えてください

(町内全地域対象)
未就学児や小学生の子どもたちを集めて、ドロドロになってもらって泥んこ体験をさせられないか検討しています。今の子どもたちは周辺環境が衛生的すぎて成長しても免疫力が低く、逆に病気(特にアレルギー、アトピー等)になりやすい、そして風邪も引きやすい子が多いという話も聞きます。そこで、イベント当日だけは大人も含めて堂々と泥まみれになってもらって五感で遊んでもらいたいと思っています。なので、暖かい時期に、子どもたちや大人が入って走り回っても良い田んぼがあれば貸していただけないでしょうか？(できればヒルが発生しない場所をお願いします)

探しモノ(物、景色、技術、人物など)の情報提供のお願い 続き

●ケンボナシの実

その形が気になっており、まだ生食したことがないので、食べてみたいです。有ったら教えてください。



●レコードプレーヤーの不要なものが眠っていたら譲ってください。

今借りているおうちには昔のレコードが保管されており、どんなものなのか聞いてみたいのですがプレーヤーがありません。どなたかで、もう使わなくなったレコードプレーヤー(で使えるもの)があったら譲ってもらえないでしょうか。



●空き家情報を教えてください。

利用しても良い空き家がありましたら教えてください。修理が必要ということであれば、「古民家の修理」自体もイベント化して、手仕事体験希望者をココまで引っ張ってきて参加者みんなでもコツコツ修理するという企画もできるのではないかと考えているので、すぐに住めなくとも、キレイじゃなくても、大丈夫です。

●クチナシの実

染色に使ってみたいので、有ったら教えてください。



●ムクロジやサイカチ

洗剤や石鹸のない時代に使われていた、ムクロジ(写真左)やサイカチ(写真右)で実際に洗濯してみたいので、採っても良いところがあれば是非教えてください。



宜しくお願ひ致します。

発行元

「たなかめ通信」 Vol. 10 2018年(平成30年)1月
制作・編集者 / 高野町むらづくり支援員(地域おこし協力隊) 田中寛人 たなかひろと 千648-0402
和歌山県伊都郡高野町東富貴519-2
Tel : 090-7486-1139
Mail : saikoro3@gmail.com

編集 後記

今号もご覧頂きありがとうございます。通信を毎月発行して、今号で二桁突入、10号目を迎えることが出来ました。今は寒い時期で草木も枯れ、生き物も少なくなり、見た目には地味になりました。冬に町外の方に山間部に関心をもってもらう・行きたいと思っても、仕掛けは難しいなあと感じています。ただ、冬場でも探せば何か「地域らしいもの」があると思うので、先日まで足を踏み入れたことのない横から峠を越えて筒香に抜ける道(道)を歩いてみました。分岐に看板が全然ないので、迷子になりそうでした...